

---

# アイ・コンタクト

百合茶

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アイ・コンタクト

### 【Nコード】

N3369D

### 【作者名】

百合茶

### 【あらすじ】

離れていても、僕らは幸せだよな？電波はどこだって届くから

凍えた指先  
そつと息を吹きかけ  
君へ送るよ

そつちではもう、  
雪は降っているのかい？

何気無い一言  
そうして今日も  
送信ボタンを押した後  
ふと気付くんだ  
君との距離を

僕らはまだ出会っていない  
それなのに  
どうして僕らは求めているのか  
朝から晩まで  
僕は君と話しているのに  
君の手も握れないまま

幸か不幸か  
君の存在は大きすぎて  
遠くて近い場所にいる  
ねえ、僕らは  
幸せだよな？  
これはきつと恋だよな？

愛してる  
愛してる

繰り返し返される  
言葉のやりとり  
この中にいくら嘘が  
混じっているのか  
探るつもりはないよ

でも僕らは求めてしまう  
触れ合う肌の  
確かな温もり

きつと来ない  
最終バス  
君の返事を待っている

ねえ、君との関係も  
いつか途絶えてしまうのかな？  
もしもそうなら  
せめてこのままもう少し…  
君と夢を語りたい  
今日も明日も  
行き場のない手が  
寂しいけれど…

ねえ、僕ら幸せだよね？  
嘘でさえも  
綺麗な真実

きっと誰より幸せだよね？  
触れなければ  
傷つかない

比べる事でしか  
測れない幸せを  
本物だと信じているんだ

寂しくなったら  
アイ  
I コンタクト  
繋ぐ手の代わりに  
握るモバイル  
僕ら、離れてなんかないよね？  
どこだって電波は届くから

握る手の中に  
愛 コンタクト  
僕らを繋ぐ  
無機質なモバイル  
いつか、君と交わせるのかな？  
柔らかなキスと  
eye コンタクト

(後書き)

ケータイがあればどこでも繋がる…  
愛の形も変わってくるのかなあ。と、思ってみたりするものです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3369d/>

---

アイ・コンタクト

2010年11月16日01時28分発行